



AIR断震 倶楽部通信 29

世界初！空気ので家を浮かす！
揺れない家が家族を守る



「究極の地震対策住宅」の株式会社三誠AIR断震システムです。
株式会社三誠AIR断震システムは、株式会社三誠のグループ会社です。
両社の担当者と名刺交換させていただいた方々に配信しております。
※このメールはテキストメールでもご覧になれますが、HTML形式で配信しております。

M7.8、M7.5——巨大地震が連続発生。 本年2月のトルコ・シリア大地震に学ぶこと



人工衛星から見たトルコの惨状。
Open Data Program by MAXAR Technologies, 情報デザイン：東京大学 渡邊英徳研究室

2023年2月6日の午前10時17分（日本時間）、トルコとシリアの国境付近を震源とするM7.8の大きな地震が起こりました。更に、午後7時24分にM7.5の余震が発生し、トルコとシリア両国で死者約5万6000人、またトルコ国内で倒壊や大きな損傷を受けた建物が20万棟を超えました。家を失うなどの大きな影響を受けた人は、トルコの人口の約16%、約1400万人に及ぶと言われています。このような大きな被害をもたらした地震は、どのようにして起きたのでしょうか？
また、5つのプレートに囲まれたトルコと同じく、4つのプレートに囲まれた地震大国である日本が学ぶべきことは何なのでしょう？

詳しくはHPで 

詳しくはHPへ▶

震災後の8年間に多数の「震災復興橋」が誕生。 隅田川の橋では、構造によって明暗が分かれた



関東大震災で大きく破損、変形した永代橋（©NHK）とライトアップされた現在の永代橋

関東大震災では、連続発生した強い揺れと、その後の大規模火災により、多くの橋が崩落、焼失、破損などの被害を受けました。東京市（当時）では、1923年（大正12年）の震災発生から、昭和初期までの8年間に425の橋が「震災復興橋」として誕生しました。隅田川の両岸も大きな火災に見舞われ、当時隅田川に架かっていた7つの橋（千住大橋、吾妻橋、厩橋、両国橋、新大橋、永代橋、相生橋）のうち、新大橋を除く6つの橋が、破損、焼失などの大きな被害を受けました。被害を受けた橋は、鋼鉄製でしたが、桁部や床面に木材を多く使用していたため火災で通行不能になりました。

新大橋は、1912年（明治45年）に鋼鉄製の橋に架け替えられ、床面は厚鋼板にコンクリートを打設してアスファルト舗装されていたことで、地震の揺れにも火災にも強く、震災時には貴重な避難路として活用されました。

新たな橋は、それぞれ構造の異なるもので、斬新なデザインが震災からの復興の象徴となりました。それから100年経った今日、隅田川に架かる30近い橋は、夜には美しくライトアップされた観光名所になっています。

詳しくはHPで 

詳しくはHPへ▶

地震が起きたその時、家を浮上させいのちと家財を守る！ 「エアー断震システム」

地震の揺れを感知すると瞬時にセンサーが作動。
エアータンクから空気を送り込んで家を浮かせ、揺れを建物に伝えづらくします。
震度7の揺れを約1/30に軽減することができます。

「エアー断震システム」について
詳しく知りたい方はこちら▶

詳しくはコチラ▶

「AIR断震倶楽部通信」
バックナンバーはこちらから▶

詳しくはコチラ▶

「エアー断震システム」の詳しい
資料請求はこちらまで▶

詳しくはコチラ▶

「エアー断震システム」の効果を
体感してみませんか。
関東に4カ所体験できる展示場があります。

詳しくはコチラ▶

大臣認定取得

2019年4月3日国土交通大臣認定を
取得しました。

詳しくはコチラ▶

☆☆私たちは、地震災害から一人でも多くの命を守るのに本気です!!
この思いにご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

《送信者》

株式会社 三誠AIR断震システム
〒104-0033 東京都中央区新川1-6-1 2 M&Sビル3階
TEL：03-3551-0272 FAX：03-3551-0273
info@airdanshin.co.jp https://airdanshin.co.jp

※このメールの内容に関するご意見・ご質問はこちら